Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第37回（5/28）　上原浩一先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

日本の野生植物

著者：佐竹義輔 ほか編　出版社：平凡社

コメント：日本国内に自生する野生植物の図鑑で草本3分冊、木本2分冊、シダ植物、コケ植物の7冊と草本、木本のフィールド版がある。発行は1980年代とやや古いが日本国内の植物を広く網羅し、多くの分類学者が分担して解説しており植物の研究をする上では必要性が高い。多くの図書館や植物学の研究室にも所蔵されている。現在は1冊1万数千円と高価だが、草本編3冊はインターネットオークションでまとめて1万円以下で購入可能なので興味がある人は当たってみると良い。

Book2

植物の系統と進化

著者：伊藤元己　出版社：裳華房

コメント：生物学の研究は生命現象の共通原理の解明を目的として発展してきたが、近年は様々な形や機能を持つ生物が存在するという生物の多様性にも注目が集まってきている。この生物多様性が人間や地球全体に様々な恩恵をもたらしている。本書は最新の分子系統学の研究で明らかになった系統関係を基盤に、化石、形態、生殖などを含め、植物の多様性をもたらした生物進化の道筋を総合的に解説した教科書である。生物の進化に興味を持つ人に読んでもらいたい。

Book3

葉で見わける樹木 増補改訂版

著者：林将之　出版社：小学館

コメント：ハイキングや山登り、あるいは公園や植物園の散策でもつかえるフィールド図鑑、おもに樹木の葉の写真から検索し、種を同定できるようにわかりやすく解説されている。植物が好きな人はこれを持ってフィールドに出よう。生態学や分類学の実習などにも必携である。